

山西小学校便り

もっと

山西っ子

《なかよく・かしこく・たくましく》

温もり
信頼
笑顔



8日始業式の朝。クラス替え表に多くの子が見入っていました。

令和3年4月14日(水) no.2 文責：上田

熊本地震から5年

平成28年4月14日・16日の熊本地震から5年が過ぎました。西原村は、甚大な被害に見舞われました。あの日のことを鮮明に覚えている、それまでは想像もしなかった日々だったという方は多いと思います。当時の工藤次生元校長先生が残された支援一覧をみると、避難所となった山西小には、個人あるいは学校、職場、団体等から多くの励ましが寄せられていたことがわかります。平成14年から続けられている「にしはらむらフォトコンテスト」(西原村 HP)には、西原村が「水と緑とひかりの村」として記録されています。熊本地震から復興する西原村が、子ども達にとって誇れる地域であってほしいと願うばかりです。

今日、職員研修として工藤次生元校長先生に講話をしていただきました。今も山西小に勤務する職員もいますが、多くの職員は当時のことを知りません。1年生として真新しいランドセルを背負い通学し始めた子どもは、今年、6年生となりました。子どもたち一人一人に熊本地震についての思いがあります。私たち教職員は、あらためて子どもたちの思いに寄り添っていかねばならないと思っています。

コロナ変異種感染の拡大に警戒を

全国的には、緊急事態宣言から一月と経たず、「まん延防止重点措置」が大阪・兵庫・宮城・京都・東京等の市区町村に広がっています。熊本でも変異種感染が報じられています。感染力が強いと言われる変異種については、若年層の感染もあり、新たな脅威となっていることは確かです。医療関係者等に続き、高齢者のワクチン接種が今週12日から始まりましたが、複雑な思いです。感染リスクを下げる努力を続けなくてはなりません。

学校では、これまで同様、家庭からの朝の検温・健康観察カードの提出や3密の回避、手指消毒、こまめな換気等による感染防止を徹底します。8日始業式の登校の様子を見ると、手にマスクをぶらぶらさせている子が複数いて、注意喚起の必要が感じられました。ご家庭でも、感染防止策を家族で講じてください。

今月19日からは、家庭訪問を予定しています。先週の通知でもお伝えしたように、今回は感染リスクを下げるために玄関先での訪問とさせていただきます。限られた時間ですが、訪問の際には換気などの感染対策を講じていただくようお願いします。



熊本地震 小・中学生アンケート